

「なんで分断ってうまれるんだろう？」

第4回「ハラスメント対策ってなに?」、第5回「当事者ってなんだろう?」に引き続き、今回は「なんで分断ってうまれるんだろう?」というテーマでみんなでおしゃべりたいと思います。

自分とは違う意見に出会った時、一步踏み込んで相手に話を聞いてみることはできているでしょうか。環境を良くしたくて働きかけたい時、その事を人に伝える時、レッテルを貼られるのが嫌だなど思う理由にはどのような事があるでしょうか。また、対立構造はなぜうまれるのでしょうか。一つの意見だけでは解決しないことがたくさんあり、誰かを排除すれば問題が解決する社会ではないはずです。新しい社会運動にはどんな形や可能性がありえるのか、どのようにしたらあらゆる人が関わっていける社会になるのか、改めてみんなでおしゃべりしてみようと思います。アスUSは、知らないことに出会える場になって欲しいと思い運営している勉強会です。疑問や、誰にも聞けないことを発言し、自分と違う意見に出会い、その事についてみんなでおしゃべりできる方法を考えています。今回は新しく改訂した勉強会のグラウンドルールから出発し、どうすれば他者の意見を聞くことができるのか、違うと思ったことをどのように相手に伝え、疑問に思ったことにはどのように踏み込んで対話すればいいのか、みんなでおしゃべり、分断の原因を理解することへつなげます。

○話し合いたいトピック○

- ・ハラスメントにまつわる個々の悩みや経験談を越え、構造的なところへの視点を持つには何が必要か?
- ・なぜ政治的な話題を出しづらい空気があるの?
- ・政治的なことも個人的なことなのでは?
- ・話し合うべき事柄とそうではない事柄の線引きってなんだろう

○参考資料○

今回のテーマの全てを補うことができるわけではありませんが、一つの側面の参考資料として共有したいと思います。勉強会の冒頭で資料内容を紹介する時間を取ります。

- ・改訂したアスUS グラウンドルール

<https://docs.google.com/document/d/1DSE>

今回のテーマについて運営でおしゃべりの中で、よりこの勉強会の意図を共有できるようにグラウンドルールを作り替えて話し合ってみたいと考えました。

今回の改訂で考えたことは以下のようなポイントです。

- ①この勉強会は、ハラスメントやそれが生まれる構造についてよく知らない人にこそ開かれる場所であること。
- ②知識や経験に差があることを前提に、対話することができるように意識をする。

- ・「個人的なことは政治的なこと」をめぐる断章 堀江有里

http://www.ritsumei-arsvi.org/uploads/center_reports/24/center_reports_24_09.pdf

家庭内の出来事は「個人的」と見なされ、公に議論されるには相応しくないとされていた時代に、家庭内の事柄も社会的な構造が大きく影響しており、ただ個人的なことではなく政治的なことであるという意味で、フェミニズム運動の中で使われるようになったスローガン。

【キーワード】

個人的なことは政治的なこと、社会運動、連帯できる?できない?、意識高い系、バックラッシュ
話し合うべき事柄とそうではない事柄の線引きの権力構造
差別は社会の構造にビルトインされている